

休廃止鉱山における坑廃水処理の高度化技術調査事業

産業保安グループ
鉱山・火薬類監理官付

令和5年度予算額

1.5 億円 (1.5 億円)

事業の内容

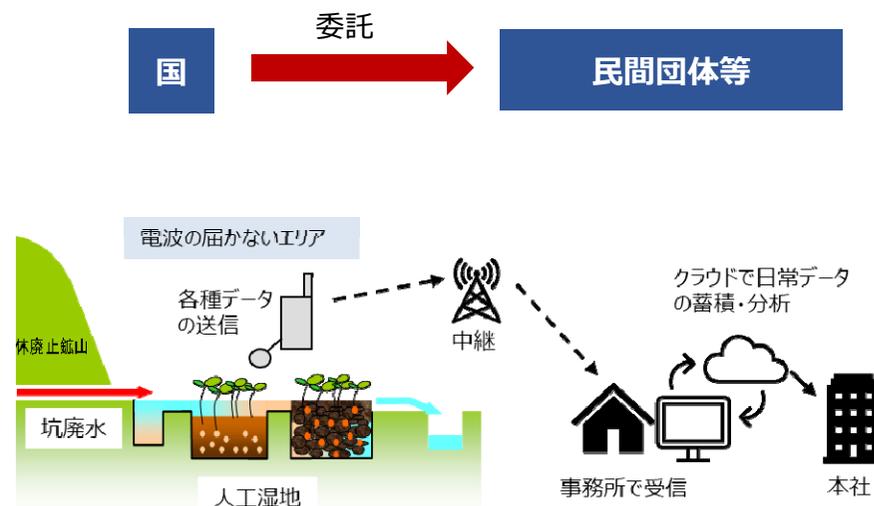
事業目的

金属鉱山等からは、採掘終了後においてもカドミウム、鉛、ヒ素等の重金属が含まれる坑廃水が排出され続け、これを適切に処理しなければ、住民の健康被害他の鉱害を引き起こすこととなります。このため、地方自治体等においては、休廃止鉱山における坑廃水処理を24時間365日処理し続けなくてはならず、抜本的な省エネルギー型の坑廃水処理技術の導入によって、坑廃水処理にかかるエネルギー使用量を削減し、永続的かつ確実な鉱害の防止を図ることを目的とします。

事業概要

本事業は、休廃止鉱山における坑廃水処理において、重金属除去作用を有する植物や微生物を利用した自然回帰型坑廃水浄化システム（パッシブトリートメント）や無給電の遠隔監視システムを組み合わせた坑廃水処理技術の高度化を図る実証調査を実施することで、休廃止鉱山全体における低炭素化を推進し、将来的に坑廃水処理にかかるエネルギー消費量の削減を図ります。

事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）



成果目標

令和4年から令和6年までの3年間の事業であり、最終的には坑廃水処理施設における省エネルギーの促進に資する技術の導入等を行い、休廃止鉱山におけるエネルギー使用量の削減を目指します。